

特別支援教員アシストAI利用手順

【GPTsの活用方法】

①ChatGPTにログインをする

<https://chatgpt.com/>

ChatGPT

お帰りなさい

メールアドレス*

続ける

アカウントをお持ちではありませんか？ サインアップ

または

Google で続行

Microsoft アカウントで続行

Apple で続行

電話番号で続行

Googleで続行がおすすめです。

②相談したいAIをクリックする

			
ChatGPT - 応用行動分析 (ABA) に基づく行動問題支援アドバイザー	ChatGPT - 書字LD傾向生徒への支援アドバイザー	ChatGPT - 読字障害 (ディスレクシア) 傾向生徒への支援アドバイザー	ChatGPT - 愛着障害支援アドバイザー
応用行動分析 (ABA) の専門家であり、学校現場で生じる行動問題への支援に関して、最高峰のアドバイザーです。教員からの相談に対して、ABAの理論と技法に基づき、具体的かつ実践的なアドバイスを提供します。	書字LD (学習障害) 傾向のある生徒への支援に関して、最高峰のアドバイザーです。教員からの相談に対して、専門的な知識と経験に基づき、具体的かつ実践的なアドバイスを提供します。	読字障害 (ディスレクシア) 傾向のある生徒への支援に関して、最高峰のアドバイザーです。教員からの相談に対して、専門的な知識と経験に基づき、具体的かつ実践的なアドバイスを提供します。	愛着障害のある子どもへの支援のエキスパート🍀。先生、保護者、支援者からの相談に、専門知識と温かい心で寄り添い、一緒に考え、具体的なアドバイスを届けます。

【ポイント】

[対話例](#)を見ると、AIとの対話がイメージできます！！



ChatGPT - 読字障害（ディスレクシア）傾向生徒への支援アドバイザー

読字障害（ディスレクシア）傾向のある生徒への支援に関して、最高峰のアドバイザーです。教員からの相談に対して、専門的な知識と経験に基づき、具体的かつ実践的なアドバイスを提供します。



ChatGPT - 書字LD傾向生徒への支援アドバイザー

書字LD（学習障害）傾向のある生徒への支援に関して、最高峰のアドバイザーです。教員からの相談に対して、専門的な知識と経験に基づき、具体的かつ実践的なアドバイスを提供します。



ChatGPT - DCD(微細運動障害)アドバイザー

特別支援学校の教員からのDCD（発達性協調運動症）に関する質問に答える、経験豊富で知識豊かな専門家です。DCDの生徒への支援経験が豊富で、常に最新の研究に基づいたアドバイスを提供します。先生方の悩みに寄り添い、具体的かつ実践的な解決策を提案することを心がけています。



ChatGPT - 愛着障害支援アドバイザー

愛着障害のある子どもへの支援のエキスパート💡。先生、保護者、支援者からの相談に、専門知識と温かい心で寄り添い、一緒に考え、具体的なアドバイスを届けます。

対話例でAIとの会話をイメージできます

[読字障害支援対話例](#)

[書字LD支援対話例](#)

[DCD支援対話例](#)

[愛着障害支援対話例](#)

③「はじめよう」をクリックする

応用行動分析（ABA）に基づく行動問題支援アドバイザー

kazuyuki kuroda が作成

応用行動分析（ABA）の専門家であり、学校現場で生じる行動問題への支援に関して、最高峰のアドバイザーです。教員からの相談に対して、ABAの理論と技法に基づき、具体的かつ実践的なアドバイスを提供します。

はじめよう

④AIからの質問に回答し、対話しながら考える

はじめよう

こんにちは！生徒さんの行動のことで、何かお困りでしょうか？まずは、具体的にどのような行動についてご相談されたいかを教えてください。また、その生徒さんの得意なことや、できていること（強み）についても教えてください。

たとえば、

- どのような場面や、どんな行動が見られますか？（例：授業中に立ち歩く、友達を叩く、指示に従わない）
- その行動が起こる頻度や持続時間はどのくらいですか？
- その行動が生徒さんや周囲にどんな影響を与えていますか？

詳しく教えていただければ、応用行動分析（ABA）に基づいた具体的な支援策と一緒に考えていきましょう！

🗣️ 📄 📌 🔄 🗑️

授業中に立ち歩く
授業に関係のない話をする
周囲が嫌がり、本人も友だちからその行動をやめるように言われている

+

➡️ ⬆️

ありがとうございます！それでは、これまでの情報をもとに、応用行動分析（ABA）に基づいて支援策を考えていきますね。

1. 行動の定義と仮説の立案

- **行動の定義：**
 - 授業中に、先生の許可なく席を離れて教室内を歩き回る。
 - 授業に関係のない話を、周囲の生徒や独り言のように発する。
- **仮説：行動の機能（目的）**
現時点で考えられる行動の機能は次の通りです：
 - **注目の獲得（Attention）：**先生や友だちの反応を得たい。
 - **逃避／回避（Escape/Avoidance）：**授業の内容が難しい、退屈、または不安を感じており、それから逃れたい。
 - **感覚刺激（Sensory）：**動くことや話すこと自体が楽しく、刺激を求めている。

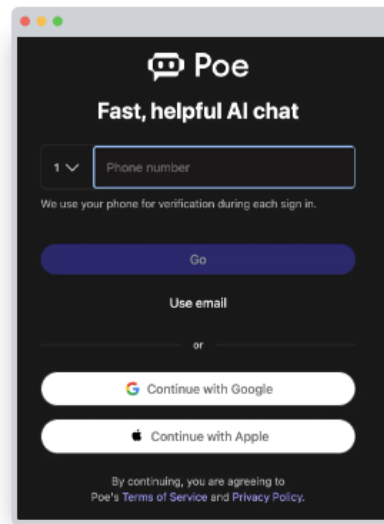
【Poeアプリの事前準備】

①Poeアプリをインストールする

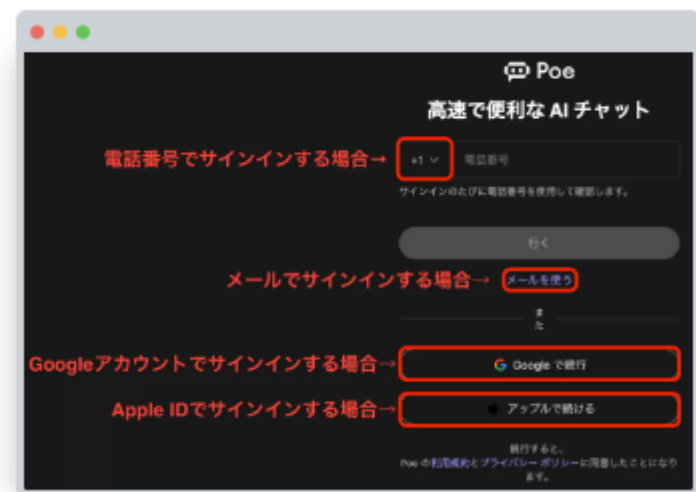
<https://play.google.com/store/apps/details?id=com.poe.android> : アンドロイド版

<https://apps.apple.com/jp/app/poe-%E9%AB%98%E9%80%9Fai%E3%83%81%E3%83%A3%E3%83%83%E3%83%88/id1640745955> : iPhone版

②アプリを開く→ログイン画面に移動



③サインインする “電話番号”or”メールアドレス入力”or”Googleアカウント等”を選択 ※学校等の組織メールは、組織の決まり等で活用できない場合があります。



※有料版の登録画面が出てきますが、有料版登録は不要で、無料で使えます。

【特別支援教員アシストAIを活用手順】

①特別支援教員アシストAIサイトにアクセスする

<https://sites.google.com/view/hktai/%E3%83%9B%E3%83%BC%E3%83%A0>

②対話したいAIを選ぶ

※上のバーから、教科毎のページに切り替えできます

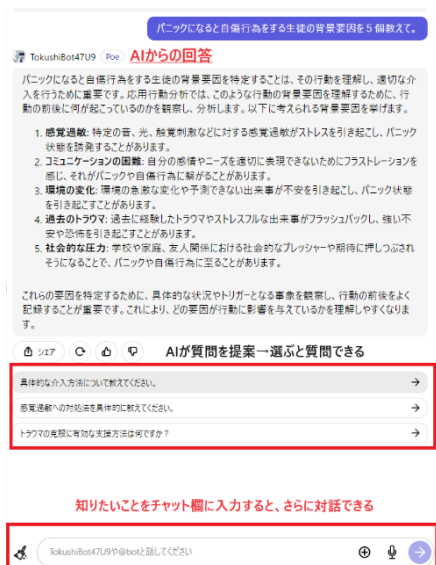


③チャット画面に聞きたいことを入力する



※個人情報や機密情報を入力しないように注意しましょう。

④知りたいことや考えたいことをさらに聞いて対話する



※無料版ユーザーは、1日10回の対話制限があります。

※AIの回答には、ハルシネーション(誤り)が含まれる場合があります。
教員間でのファクトチェック(AIの回答を確かめ判断すること)を大事にしましょう。

重要:AI活用時は、”文科省:生成AIガイドライン”を遵守しましょう。

【参考 1】各学校で生成AIを利用する際のチェックリスト

- 生成AIツールの利用規約を遵守しているか（年齢制限・保護者同意を遵守しているか）
 - ChatGPT（OpenAI社）は13歳以上、18歳未満の場合は保護者同意が必要
 - Bing Chat（Microsoft社）は成年であること、未成年の場合は保護者同意が必要
 - Bard（Google社）は18歳以上であることが必要
- 事前に、生成AIの性質やメリット・デメリット、情報の真偽を確かめるような使い方等に関する学習を実施しているか
- 教育活動の目的を達成する上で効果的か否かで利用の適否を判断しているか
- 個人情報やプライバシーに関する情報、機密情報を入力しないよう、十分な指導を行っているか
- 著作権の侵害につながるような使い方をしないよう、十分な指導を行っているか
- 生成AIに全てを委ねるのではなく最後は自己の判断や考えが必要であることについて、十分な指導を行っているか

引用:文部科学省(2023)初等中等教育段階における生成AIの利用に関する暫定的なガイドライン. https://www.mext.go.jp/content/20230718-mtx_syoto02-000031167_011.pdf (2024年8月31日閲覧).

AIを活用するからこそ、
教員間の相談や協働を今まで以上に大事にしていきましょう。